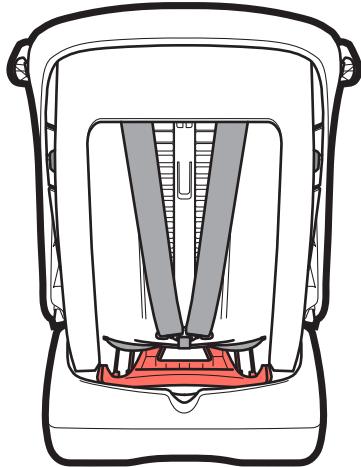


Cradle®

## クレイドル カルートロング



企画・販売元

株式会社 シーエー産商

〒480-0201 愛知県西春日井郡豊山町大字青山字東栄51

[www.ca-sansho.co.jp](http://www.ca-sansho.co.jp)

お客様相談窓口

●本製品に関するお問い合わせ(月曜日～金曜日※弊社休日は除く)

0120-034-017

受付時間／AM10:00～12:00・PM1:00～5:00

Cradle®

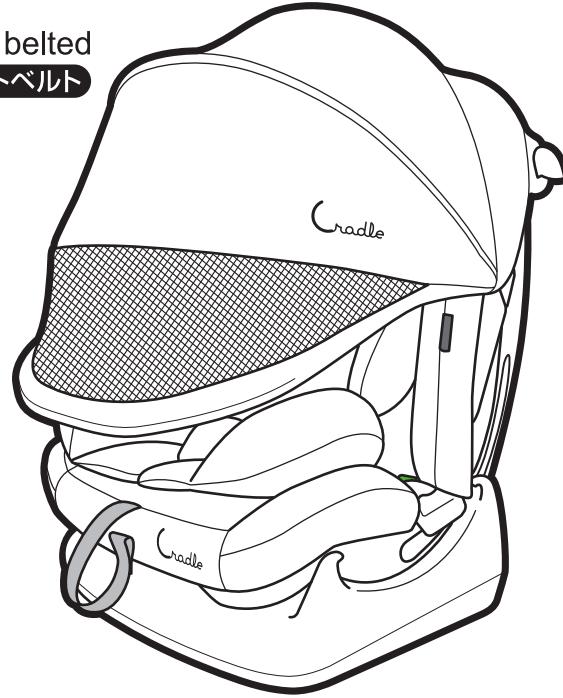
# クレイドル カルートロング

## 取扱説明書/保証書

ご使用になる前に必ずこの『取扱説明書』を読んでいただき、  
十分にご理解された上で、記載の内容に従って正しくご使用ください。

Universal belted

3点式シートベルト



本装置は、身長40～135cm（新生児～9歳頃まで）のお子様用です。

※本書に使用しているイラストは、取り扱い方や使い方をわかりやすくするため、実際とは多少異なる場合があります。

シートを傷めるおそれがあるため、**本革シートの車両**はそのまま取り付けないで  
ください。取り付ける場合は、保護マット等を敷いてから取り付けてください。(別売)

# 目次

●ご使用になる前に	2
本装置について	2
ご利用にあたって	2
安全にご使用いただくために	3
ご使用いただけるお子様の目安と取り付け方	7
取り付けできる3点式シートベルト	9
取り付けできない座席	10
●各部の名称	11
●各部の使い方	13
バックル・タング	13
リクライニングレバー	14
ヘッドサポート	15
肩ベルト	16
インナークッション／サンシェード	17
●後ろ向きとしての使い方	18
取り付け方	18
●前向きとしての使い方①	22
取り付け方	22
●お子様の乗せ方・降ろし方	26
●前向きとしての使い方②	28
お子様を乗せる前に	28
●お子様の乗せ方・降ろし方	30
●お手入れのしかた	32
取り外し方	32
取り付け方	34
カバー・パッド・クッション	36
本体・ベルト・バックル等	36
●困ったときは	37
●保証規定／保証書	38

# ご使用になる前に

## 本装置について

本装置は、安全基準(UN ECE R129/03)※に適合しており、身長が40～135cmまでのお子様を対象とした、R129改良型年少者用補助乗車装置です。

※安全基準(UN ECE R129)は、従来の安全基準「UN ECE R44/04」適合のチャイルドシートと比べ、より安全性を高めるために推進された新しい安全基準です。

●新基準UN ECE R129の詳細については、弊社HP(QRコード→)をご覧ください。



●本装置は、3点式シートベルトが装備されている座席にご使用できます。2点式シートベルトの座席にはご使用できません。必ず『車種別適合表』・車両の『取扱説明書』をご確認ください。

●エアバッグが装備されている座席には取り付けできません。  
(サイドエアバッグを除く)

●ご不明な点は、お買い上げの販売店または「お客様相談窓口」まで、お問い合わせください。

### 〈中古品のご使用について〉

前の使用者の使用履歴や使用状況が不明な場合は、ご使用いただけません。特にベルトや部品にキズやひび割れ等の損傷がある場合は、事故等により強い衝撃を受けたおそれがありますので決して使用しないでください。

※ご不明な点は、お買い上げの販売店または「お客様相談窓口」まで、お問い合わせください。

## ご利用にあたって

●本書を読んでいただくためのポイントマークについて

下記のポイントマークは安全に関する内容ですので、必ず守っていただき本装置をご使用ください。

### ⚠警告

事故につながったり、  
生命の危険、重大な傷害  
のおそれがあること  
を記載しています。

### ⚠注意

安全のため、ご注意し  
ていただきたいことを  
記載しています。

### 補足

より安全・快適にご使用  
いただく上で、知ってお  
いていただきたいことを  
記載しています。

✗ 図に表示している行為の禁止を示しています。

# ご使用になる前に

## 安全にご使用いただくために

記載内容を守らないと、生命の危機または重大な傷害につながるおそれがあります。



### 本装置は、安全な後部座席に取り付けてご使用ください。

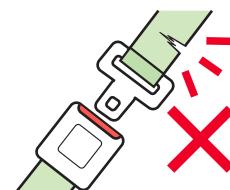
※安全上、前座席にはご使用いただけません。

※お子様の身長が76cmを超えるまで、前向きではご使用いただけません。

- 本装置は『取扱説明書』通りに取り付けてください。

- 車両座席の種類・形状により、『取扱説明書』通りに取り付けできない場合は、使用しないでください。

- 本装置のベルトが緩んだ状態で、使用しないでください。ベルトに緩みがあると首に巻き付いて窒息するおそれがあります。必ず正しい長さでご使用ください。



- お子様を本装置に乗せて使用する際は、骨盤が腰ベルトで拘束されるように低い位置で装着し、肩ベルトもお子様に合わせ、適切な位置で拘束されるようにしてください。

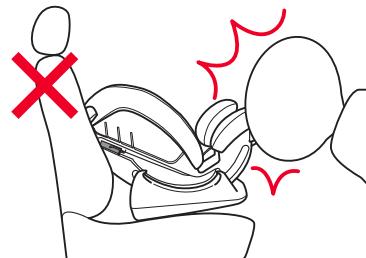
- 走行中にお子様の乗せ降ろしや、本装置の調節等は絶対にしないでください。

- 拘束機能に影響を与えるおそれがありますので、本装置のカバー・クッション・ベルト類・付属金具等を外して使用しないでください(ヘッドクッション・インナークッションを除く)。

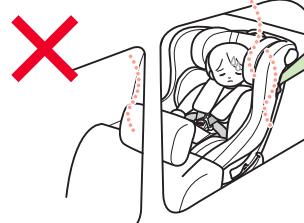


- エアバッグが装備されている座席には、本装置は使用できません。衝突時、エアバッグの作動により、衝撃を受け非常に危険です。

※サイドエアバッグやカーテンエアバッグのみの場合は、使用できます。



- お子様を乗せたまま、車両から離れないようにしてください。不慮の事故につながるおそれがあります。



- 走行前に、本装置が正しく座席に取り付けられているか、取り付けが緩んでいないかを確認してからご使用ください。

- お子様の負担を考え、1時間以上連続して使用しないでください。

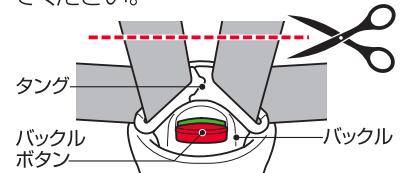
- 本装置を取り付けた後に、車両の座席を移動させたり、背もたれを前後に倒したり、動かさないでください。

- 本装置を屋外に放置しないでください。日光や雨などが原因で機能を損ねる場合があります。

- 車両の座席シートの材質・形状によって、キズや跡が付く場合があります。本装置と座席シートの間に、保護マット等を敷いてご使用ください。

- 緊急時に脱出の妨げになる座席には取り付けないでください(例:片側スライドドアのドア側座席など)。

- 緊急時は慌てず速やかにお子様を救出してください。  
バックルボタン(赤いボタン)を下に押してもタングがバックルから解除できない場合は、本装置ベルトをはさみ等で切って、お子様を降ろしてください。



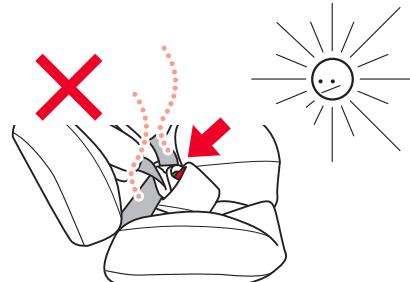
# ご使用になる前に

## 安全にご使用いただくために

記載内容を守らないと、傷害または事故につながるおそれがあります。

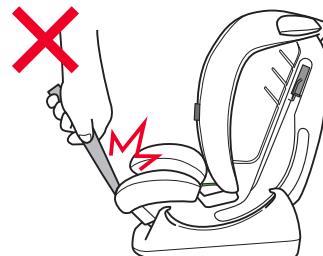
### ⚠ 注意

- 本装置は車両専用ですので、車両以外での使用はしないでください。
- 走行や運転操作の支障になる座席には取り付けないでください。
- お子様が転倒する危険がありますので、本装置の上で立ち上がったり、中腰にさせないようにしてください。
- 本装置に重いものを載せないでください。
- 本装置を取り付ける際、手や指を車両の座席やドアに挟まないように注意してください。
- 本装置に日光が当たりますと、熱くなつてお子様がやけどをするおそれがありますので、大人が金属部分・樹脂部等に触れて、熱くなつていなかを確認してください。
- 車両内に、傷害を与えるおそれのあるものを放置しないでください。万一の際に、お子様や同乗者がケガをするおそれがあり危険です。
- 本装置を取り付ける座席には、マット類など何も置かないでください(本革シートなどのシートを保護するためのマットは除く)。衝突した際、本装置の性能が十分発揮されない場合があります。



### ⚠ 注意

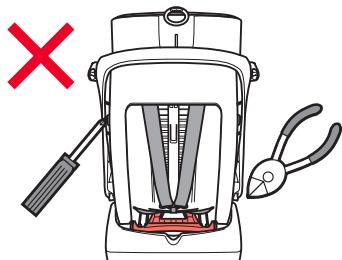
- 本装置をホコリが溜まりやすい場所で放置して使用しないでください。可動部分が詰まり、故障の原因になる場合があります。
- 本装置にお子様を乗せない時でも、安全のため必ず車両のシートベルトで固定してください。衝突時や急ブレーキをかけた際、本装置が移動してケガをするおそれがあります。
- 肩ベルト調節ストラップを上に引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損することがありますので、必ず手前に引いてください。



- お子様に本装置の取り付けや、操作をさせないでください。
- 極端な厚着や防寒具の上から本装置のベルトを装着すると、ベルトが緩むおそれがあります。お子様の寒さ対策は、肩・腰ベルトを装着した上からおこなってください。



- 本体カバーやパッド・クッション類のお手入れに、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。
- 改造・修理はしないでください。破損・故障の原因になります。



# ご使用になる前に

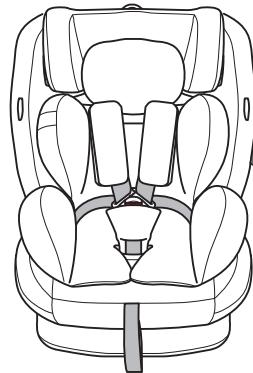
## ご使用いただけるお子様の目安と取り付け方

体重は目安です。お子様の身長に合わせてご使用ください。

### 後ろ向き

身長40~105cm

- 年齢の目安…新生児～4歳頃
- 体重の目安…約2.5～18kg以下



車両の**3点式シートベルト**で取り付け、  
本装置の**肩・腰ベルト、バックル**でお子様を拘束します。

車両の進行方向に対し**必ず後ろ向き**で使用します。



月齢15ヶ月かつ身長76cmを超えるまでは、  
車両の進行方向に対して、必ず**後ろ向き**で使用。  
※身長が76cmを超えてても、できる限り「後ろ向き」での  
ご使用をお勧めします。

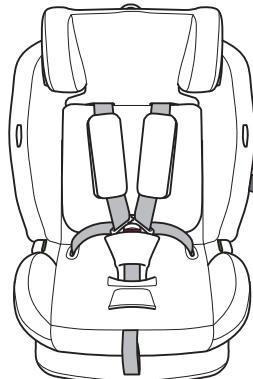


上記の条件を満たさないお子様には、絶対  
に使用しないでください。また、助手席には  
決して取り付けないでください。

### 前向き

身長76~105cm

- 年齢の目安…15ヶ月～4歳頃
- 体重の目安…約9～18kg以下



車両の**3点式シートベルト**で  
取り付け、本装置の**肩・腰ベルト、  
バックル**でお子様を拘束します。

車両の進行方向に対し**前向き**で使用します。



身長76cm～ヘッドクッション・  
インナーケッションを取り外して使用します。  
身長100cm～本装置のバックル・タング、  
肩・腰ベルト、パッド等を取り外して使用します。



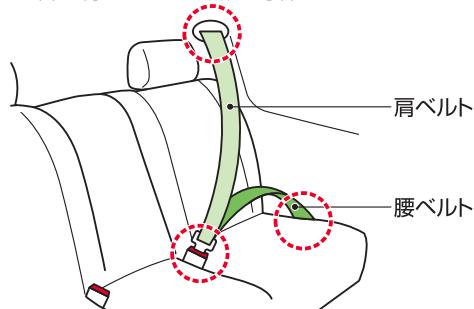
上記の条件を満たさないお子様には、絶対  
に使用しないでください。また、助手席には  
決して取り付けないでください。



# ご使用になる前に

## 取り付けできる3点式シートベルト

必ず3点式シートベルトをご使用ください。  
(腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で身体を支えるシートベルト)



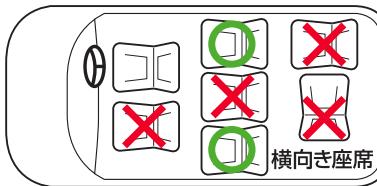
### 3点式シートベルトの種類

ELR緊急ロック式 <巻き取り機能付>	ゆっくり引き出すと自由に伸び縮みし、勢いよく引くとロックするシートベルト。
ALR/ELR <チャイルドシート固定機能付>	すべて引き出した後で自動的に巻き戻り、それ以上伸びなくなり、すべて巻き取るとロックが解除されるシートベルト。
その他	上記にあてはまらないシートベルトは、ご使用いただけません。

※ご使用になる前に、車両の『取扱説明書』をご確認ください。

### 取り付け可能箇所

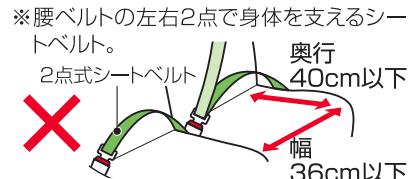
- 助手席にはフロントエアバッグが装備されています。エアバッグの作動により大きな衝撃を受けるおそれがあるため、後部左右座席に取り付けてください。
- 進行方向に対し、後ろ向き・横向きの座席には取り付けられません。



※必ず弊社『車種別適合表』をご確認ください。 取り付け可能 取り付け不可

## 取り付けできない座席

- シートベルトが装備されていない座席。
- 2点式シートベルトの座席。



- シートベルトの全長が230cm以下の座席。

- 座面の奥行きが40cm以下の座席。

- 座面の幅が36cm以下の座席。

- エアバッグが装備されている座席。

※サイドエアバッグのみの場合は、ご使用いただけます。

- 肩ベルトの出口が座席より前にある座席。(背もたれを起こしたり、座席を前にスライドさせることで使用できる場合があります。)



- 腰ベルトまたは肩ベルトがドアに取り付けられている座席。



- 車両のバックル、シートベルトが背もたれよりも10cm以上前に出ている座席。



- 極端なバケットシート。座面・背面が極端に凹んだ座席。または座面の凹凸が大きく、不安定な座席。

- 自動式ショルダーベルト(パッシブシートベルト)※が、装備されている座席。

※ドアを閉めると自動的にシートベルトを装着する機能があるシートベルト。

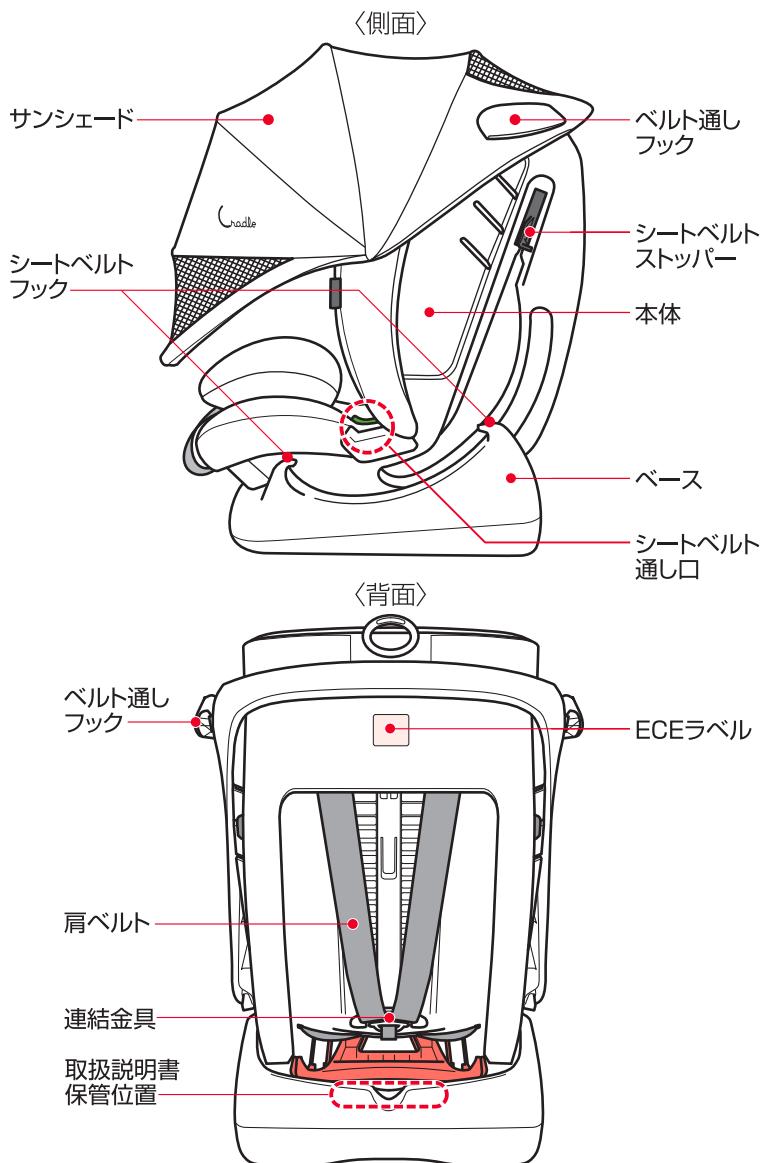
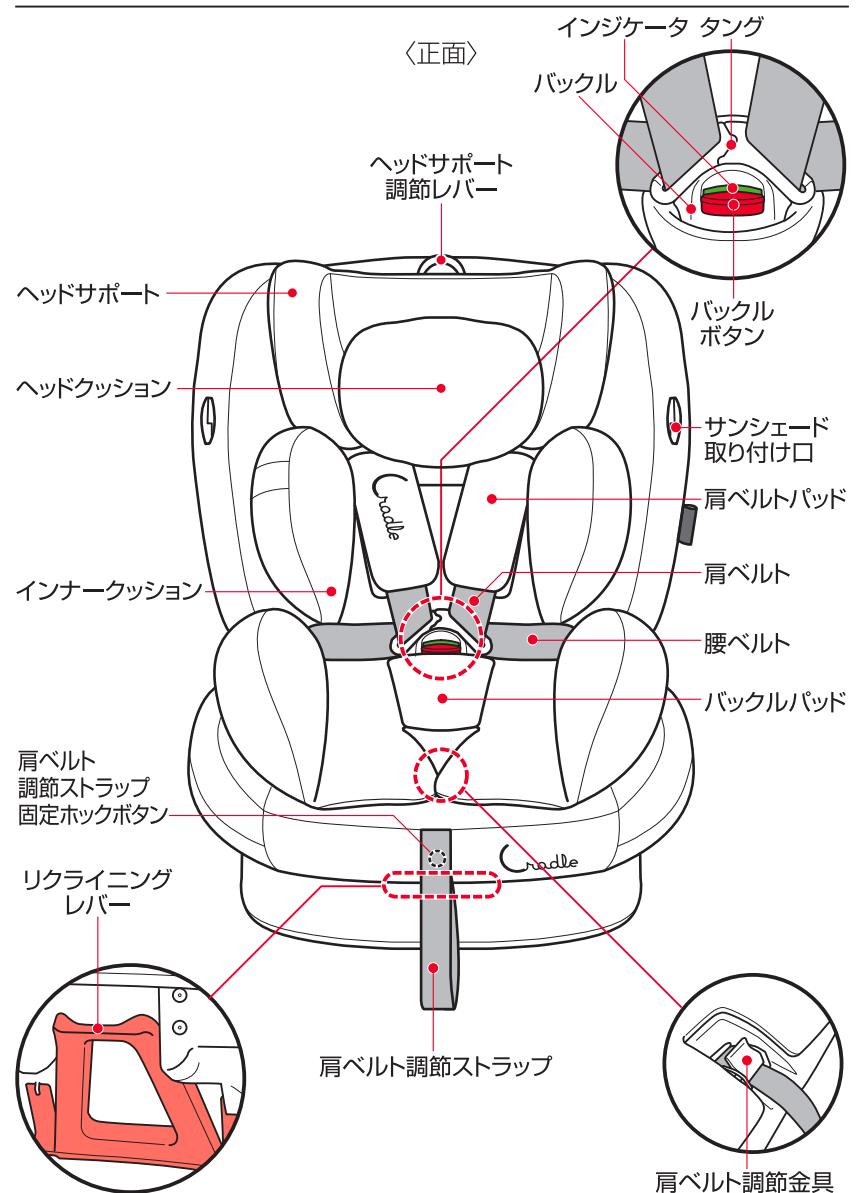


- 本装置を使用することにより、緊急時に車両から脱出する際、妨げになる座席。

- 受け側のバックルベルトの長さが15cm以上ある座席。(車両のバックルやタングが本装置とあたり、しっかりと締め付けができません。)



## 各部の名称

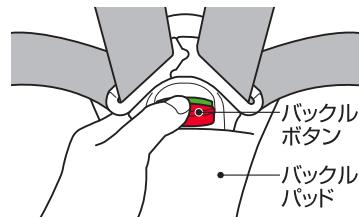


# 各部の使い方

## バックル・タング

### ■ロック解除の場合

バックルパッドを引き下げ、バックルボタン(赤いボタン)を下に押し、タングをバックルから解除します。



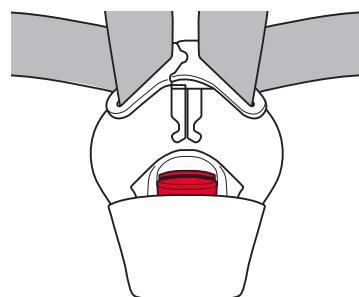
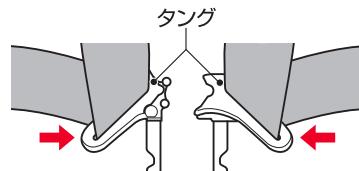
### ■ロックする場合

左右のタングを合わせます。

バックルパッドを引き下げます。

タングをバックルに、「カチッ」と音がするまで確実に差し込み、バックルパッドを引き上げます。

※ロックすると緑色のインジケータが表示されます。

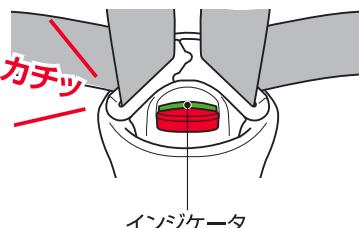


バックルとタングをセットした際に、「カチッ」と音がしたことを確認してください。



タングの接合部に強い力を加えないでください。破損するおそれがあります。

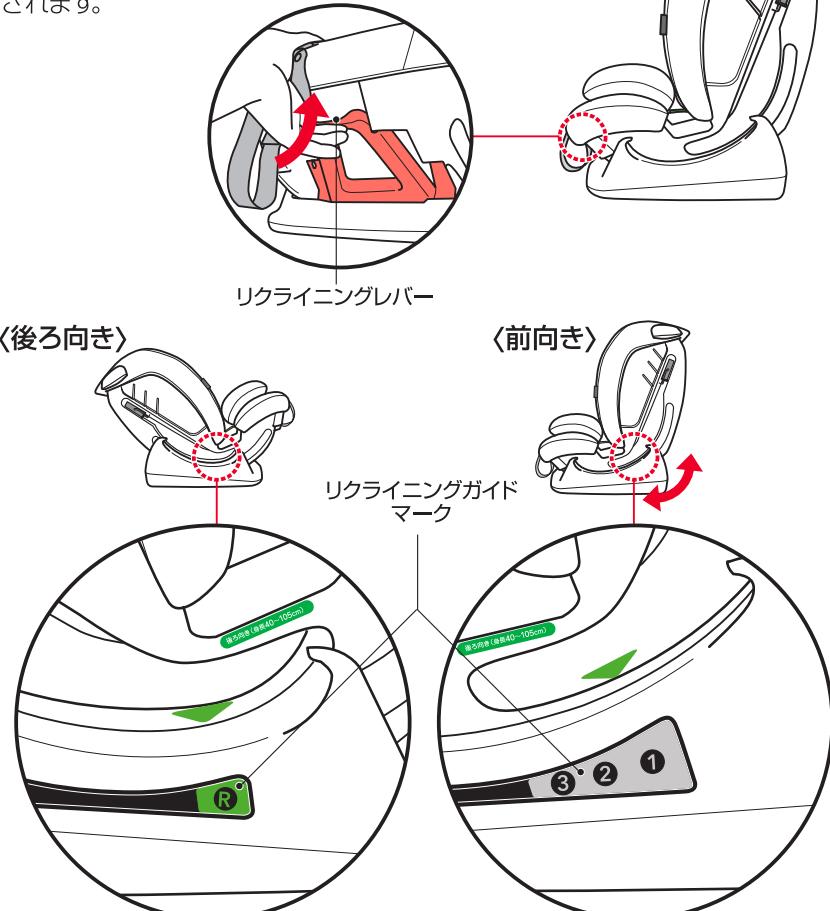
バックルに片方のタングのみを差し込まないでください。タングが抜けなくなり故障の原因になります。



バックル(タング差し込み口)に飲み物や食べかす等が入ると、故障の原因になりますので、水分・ゴミは取り除いてください。

## リクライニングレバー

リクライニングレバーを持ち上げながら本体をスライドさせ、リクライニングガイドマーク(前向き3段階①～③・後ろ向き1段階④)を適正な位置に合わせます。リクライニングレバーを離すと本体が固定されます。



# 各部の使い方

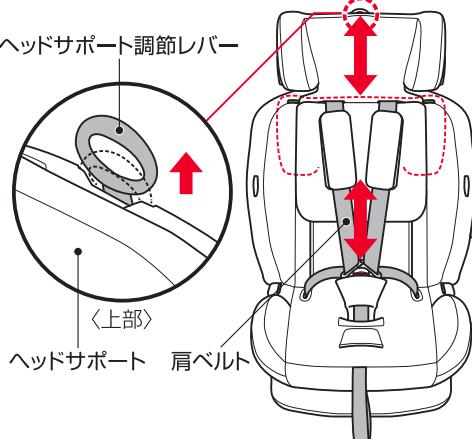
## ヘッドサポート

調節する時は、肩ベルトを緩めてからおこなってください。(P16参照)

### ヘッドサポート(肩ベルトと連動)の調節

#### ■上げる場合

ヘッドサポート調節レバーに、指を入れて引き上げます。



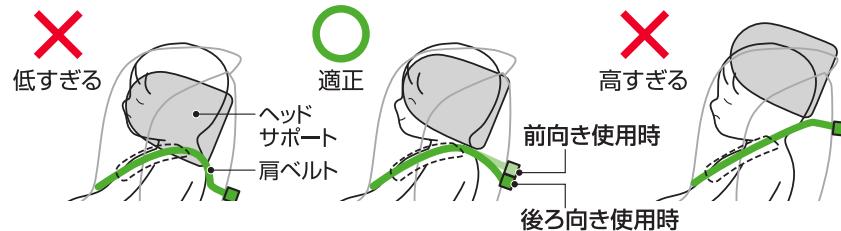
#### ■下げる場合

ヘッドサポート調節レバーを引き上げてロックを解除し、ヘッドサポートを押し下げます。

## 肩ベルト位置の目安

#### ■後ろ向き使用時

肩ベルトの出口がお子様の肩よりやや低い位置になるように、高さを調節します。



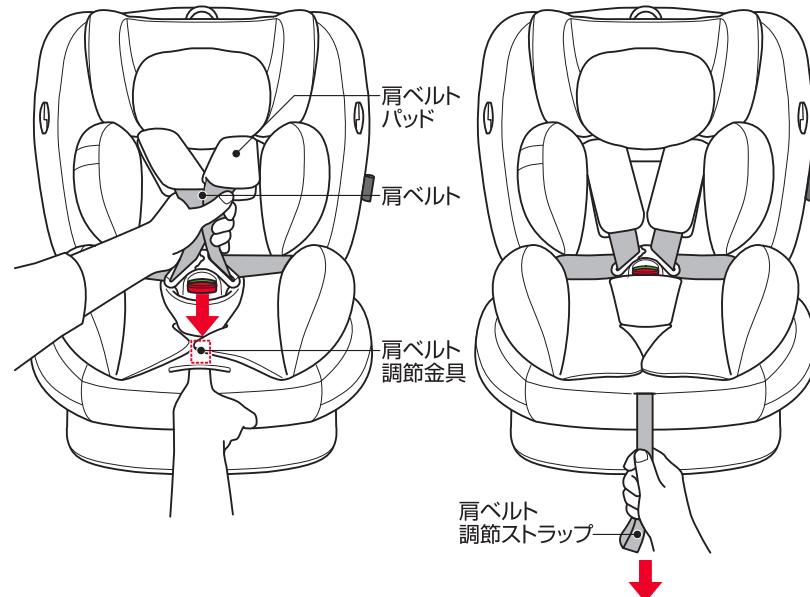
肩ベルトにねじれができるないように、注意しながら調節してください。

## 肩ベルト

### ■肩ベルトを緩める

肩ベルト調節金具を押しながら、左右の肩ベルト(肩ベルトパッドの下側)を持って、手前に引くと緩みます。

※肩ベルトパッドを引っ張っても、肩ベルトは緩みません。



**注意**  
左右の肩ベルトの長さが均等になるように、左右の肩ベルトを同時に引き出してください。

肩ベルト調節ストラップを上に引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。

### 補足

調節の目安は、お子様の肩と肩ベルトの間に指1本に入る程度に調節してください。



# 各部の使い方

## インナークッション

身長が76cm未満のお子様は、必ずインナークッションを取り付けてご使用ください。  
インナークッションを取り外してもよい条件は76cm以上(15ヵ月頃)で、腰と首がすわっていることです。

身長 40cm~	60cm~	76cm~
必ず使用する		使用しない

## サンシェード

〈ご使用の目安〉

本装置からお子様の頭が出る場合は、ご使用いただけません。

サンシェードの後部を、ベルト通しフックに通します。

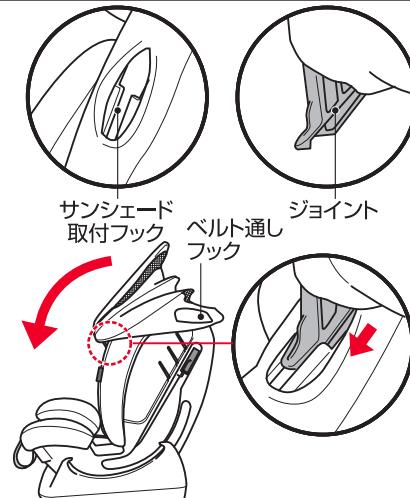
サンシェードのジョイントとサンシェード取付フックの溝を合わせ、ジョイントを下に差し込んで取り付けます。



走行時は、窓を開けないでください。サンシェードが動くなどして、お子様がケガをすることがあります。

サンシェードを開閉させる時に指や手などを挟まないようにご注意ください。

サンシェードのみを持って持ち運ばないでください。破損・事故のおそれがあります。



# 後ろ向きとしての使い方

## 取り付け方

### ●取り付け作業前にスペースの確保

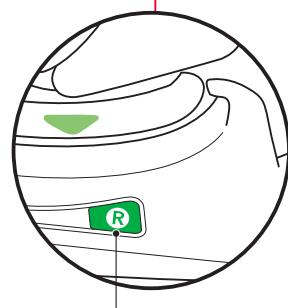
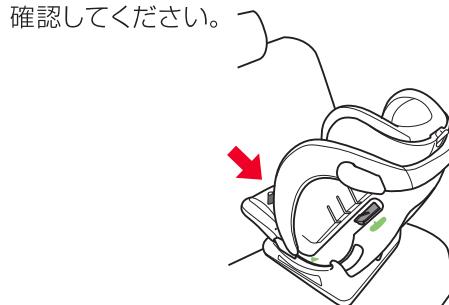
後部ドアが全開可能で、平坦な場所で取り付けをしてください。前席を前に倒したり、前にスライドさせて作業スペースを確保してください。  
後部座席がリクライニングで倒れている場合は、一番起こした位置にしてください。



1

本装置の肩ベルトを緩め、リクライニングレバーを持ち上げながら本体をスライドさせ、リクライニングガイドマーク(R)に合わせてください。

車両の進行方向に対し、後ろ向きに本装置を置き、車両の背もたれと本装置が隙間なく接していることを確認してください。また、ぐらつきがなく安定していることを確認してください。



リクライニング  
ガイドマーク



エアバッグが装備されている助手席には、絶対に取り付けないでください。



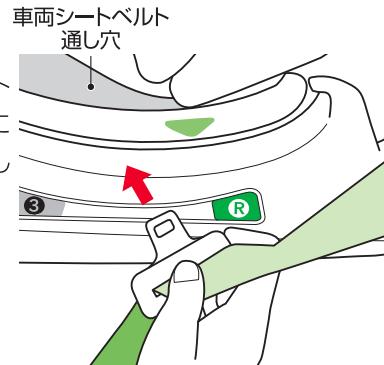
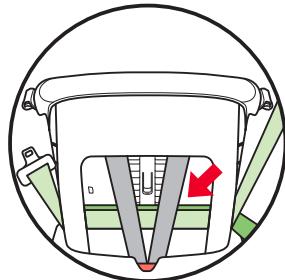
本装置と車両の背もたれ・座席との間に、隙間がないようにしてください。

# 後ろ向きとしての使い方

## 取り付け方

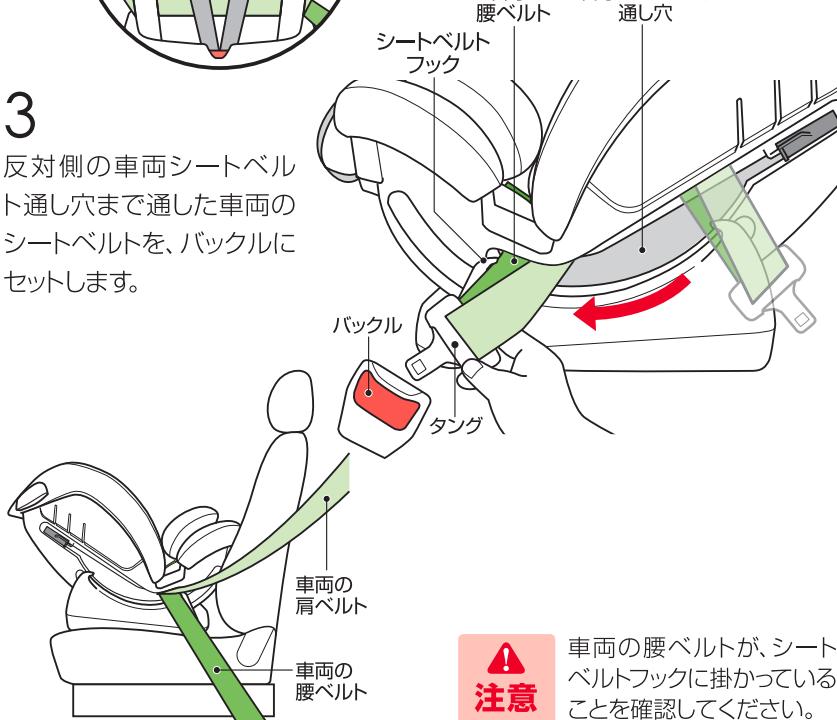
2

車両のシートベルトを、車両シートベルト通し穴(本装置の本体とベースとの間)に通し、本体と本装置のベルトの間に通します。



3

反対側の車両シートベルト通し穴まで通した車両のシートベルトを、バックルにセットします。

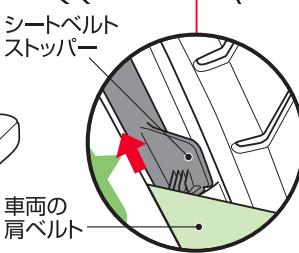
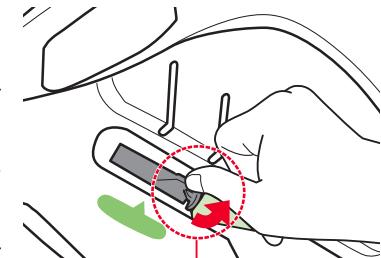


車両の腰ベルトが、シートベルトフックに掛かっていることを確認してください。

4

右図のように、シートベルトストッパーを矢印の方向に押し上げ、車両の肩ベルトをシートベルトストッパーの下から通して挟み込みます。

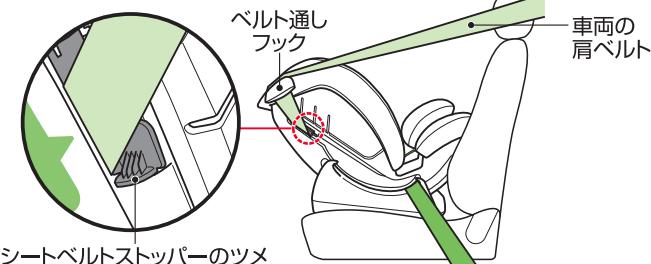
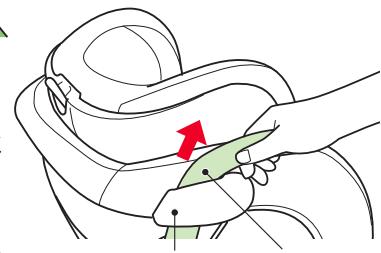
車両の肩ベルトを引き上げ、シートベルトストッパーに取り付けます。



5

本装置のベルト通しフックに、車両の肩ベルトを通してください。

シートベルトストッパーのツメの上に、車両の肩ベルトが通っていることを確認してください。



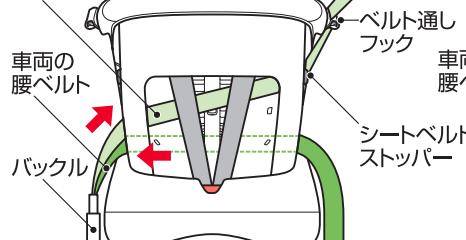
# 後ろ向きとしての使い方

## 取り付け方

6

本装置の座面の上から体重をかけ、車両の座席に押し付けて車両のシートベルトを矢印の方向へ引っ張り、締め付けます。

車両の肩ベルト  
車両の腰ベルト  
バックル



### セット後の確認

- 車両のシートベルトのタングとバックルが、確実にセットされていること。
- 車両のシートベルトに、ねじれがないこと。
- 車両の肩ベルトがベルト通しフックとシートベルトストッパーに、車両の腰ベルトがシートベルトフックに確実に掛かっていること。
- 本装置を前後に軽く揺すって、ぐらつきがなく安定していること。

上記の内容を満たしていない状態で使用しないでください。本装置の機能が十分に発揮されず危険です。

車両のシートベルトがバックルに届かない場合、車両の背もたれや座席位置を調整して、再度取り付けてください。

# 前向きとしての使い方①

## 取り付け方

### ●取り付け作業前にスペースの確保

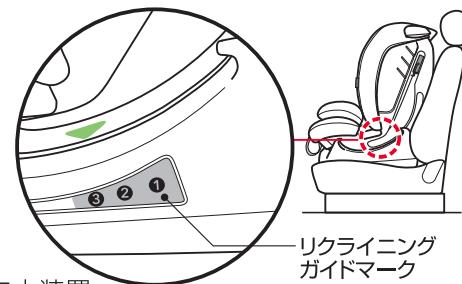
後部ドアが全開可能で、平坦な場所で取り付けをしてください。前席を前に倒したり、前にスライドさせて作業スペースを確保してください。

後部座席がリクライニングで倒れている場合は、一番起きた位置にしてください。



1

本装置の肩ベルトを緩め、リクライニングレバーを持ち上げながら本体をスライドさせ、リクライニングガイドマーク(1～3)に合わせてください。



エアバッグが装備されている助手席には、絶対に取り付けないでください。



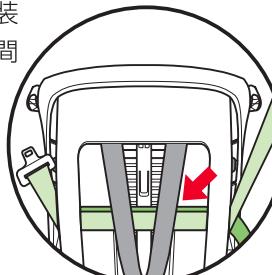
本装置と車両の背もたれ・座席との間に、隙間がないようにしてください。



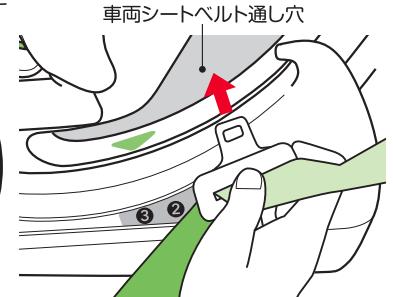
また、ぐらつきがなく安定していることを確認してください。

2

車両のシートベルトを、車両シートベルト通し穴(本装置の本体とベースとの間)に通し、本体と本装置のベルトの間に通します。



ヘッドレストが干渉する場合は、上げるか取り外してください。

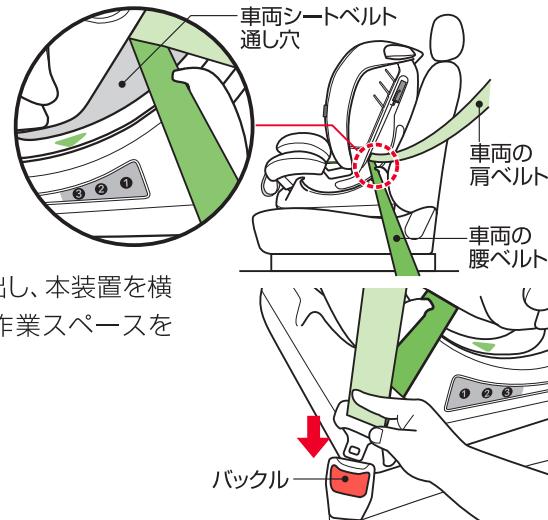


# 前向きとしての使い方①

## 取り付け方

3

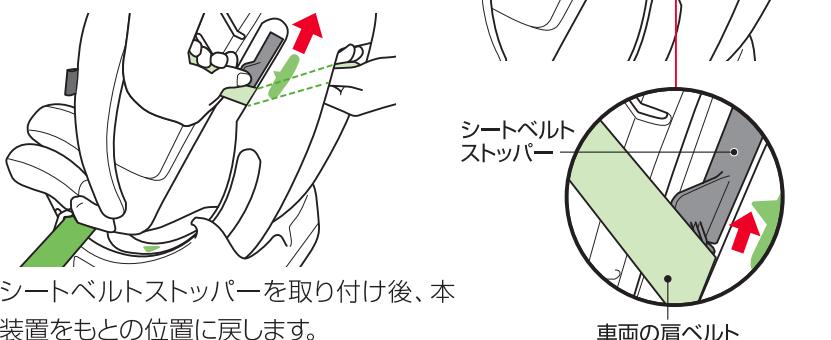
反対側の車両シートベルト通し穴まで通した車両のシートベルトを、バックルにセットします。



4

右図のように、シートベルトストッパーを矢印の方向に押し上げ、車両の肩ベルトをシートベルトストッパーの下から通して挟み込みます。

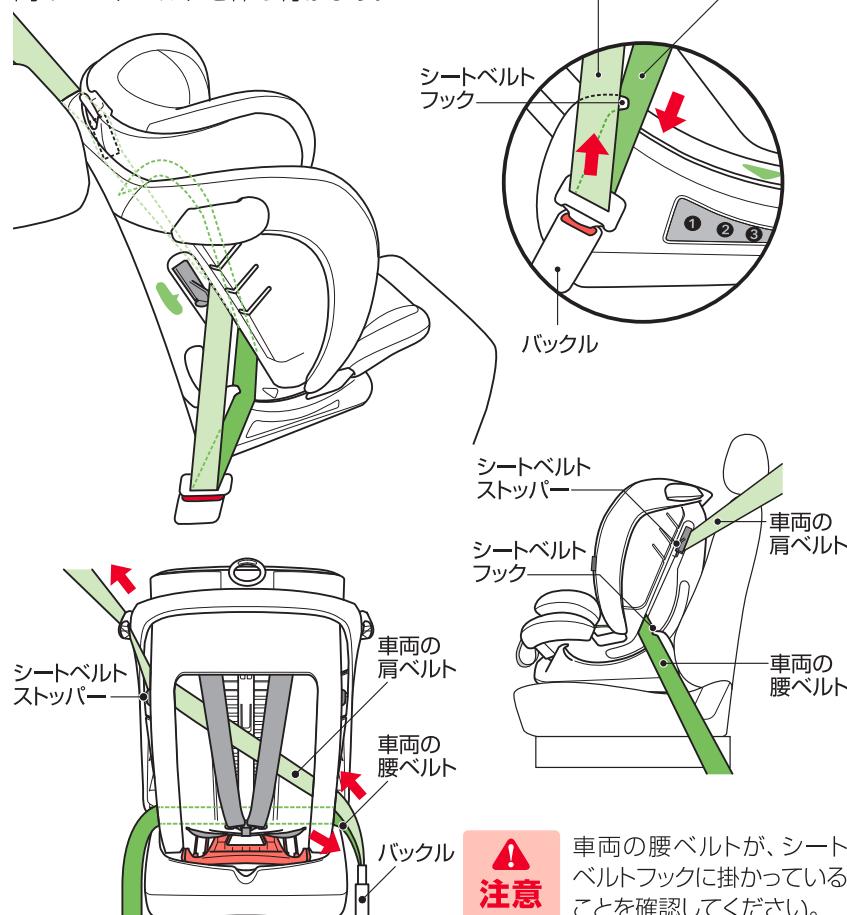
車両の肩ベルトを引き上げ、シートベルトストッパーに取り付けます。



シートベルトストッパーを取り付け後、本装置をもとの位置に戻します。

5

車両の腰ベルトが、左右のシートベルトフックに掛かっていることを確認し、車両の腰ベルト、肩ベルトの順に引っ張り、車両のシートベルトを締め付けます。

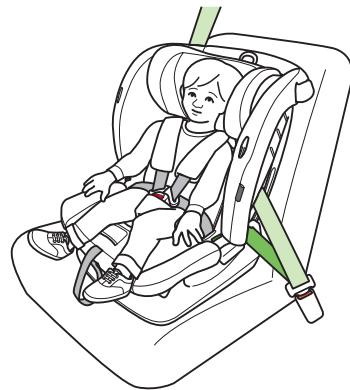


# 前向きとしての使い方

## 取り付け方

6

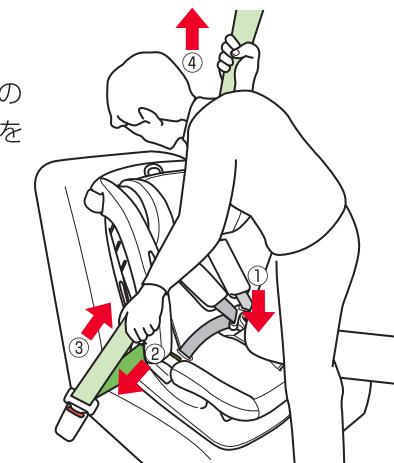
本装置の座面の上から体重をかけ、車両の座席に押し付けて車両のシートベルトを矢印の方向に引っ張り、締め付けます。



〈後席右側の取り付けイメージ〉



〈後席左側の取り付けイメージ〉



### セット後の確認

- 車両のシートベルトのタングとバックルが、確実にセットされていること。
- 車両のシートベルトに、ねじれがないこと。
- 車両の肩ベルトが、ベルト通りフックとシートベルトストッパーに、車両の腰ベルトが、左右のシートベルトフックに確実に掛けていること。
- 本装置を前後に軽く揺すって、ぐらつきがなく安定していること。



警告

上記の内容を満たしていない状態で使用しないでください。本装置の機能が十分に発揮せぬ危険です。

補足

車両のシートベルトがバックルに届かない場合、車両の背もたれや座席位置を調整して、再度取り付けてください。

# お子様の乗せ方・降ろし方

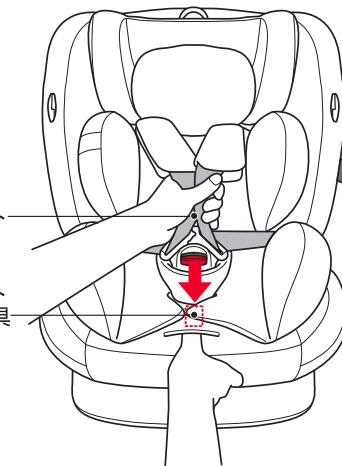
## お子様の乗せ方

●本書P7・P8「ご使用いただけるお子様の目安と取り付け方」を参照して取り付け向きを確認し、お子様に合わせて着座スペースを確保し、乗せ降ろしをしてください。

1

肩ベルト調節金具をしっかりと押しながら、左右の肩ベルト(肩ベルトパッドの下側)を持って手前に引っ張り、肩ベルトを緩めます。

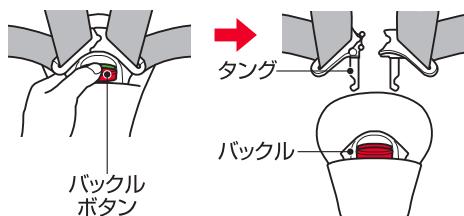
※肩ベルトパッドを引っ張っても、肩ベルトは緩みません。



2

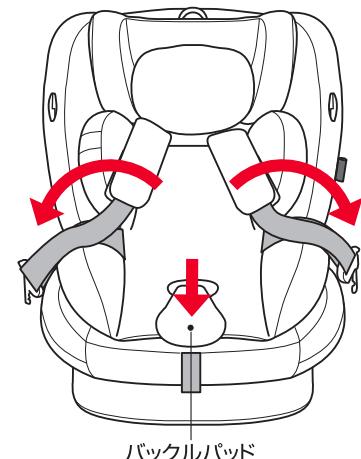
バックルパッドを引き下げ、バックルボタン(赤いボタン)を押して、タングをバックルから解除します。

肩ベルトを左右に開き、バックルパッドを前に倒し、お子様が座れるスペースを確保します。



注意

左右の肩ベルトの長さが均等になるように、左右の肩ベルトを同時に引き出してください。



# お子様の乗せ方・降ろし方

## お子様の乗せ方

3

バックルが、お子様の股の間に収まるように深く座らせ、ヘッドサポートの高さを調節します。(P15参照)

肩ベルトにねじれがないことを確認してから左右のタングを合わせ、「カチッ」と音がするまでバックルに差し込みます。



4

腰ベルトに緩みのないことを確かめてから、肩ベルト調節ストラップを手前にゆっくり引っ張って肩ベルトを締め、お子様を拘束します。



**注意**

肩ベルトにねじれができるないように、また指を挟まないように十分注意してください。

タングの接合部に強い力を加えると破損するおそれがあります。

肩ベルト調節ストラップを上に引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。

**補足**

調節の目安は、お子様の肩と肩ベルトの間に指1本が入る程度に調節してください。



## お子様の降ろし方

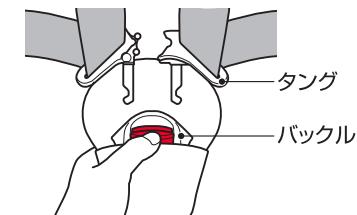
- 肩ベルト調節金具を押して肩ベルトを緩めます。バックルボタンを押してロックを解除し、肩ベルトを左右に開きます。お子様の腕が肩ベルトに引っ掛からないように注意しながら、ゆっくりとお子様を降ろしてください。

## 前向きとしての使い方②(身長100~135cm)

### お子様を乗せる前に

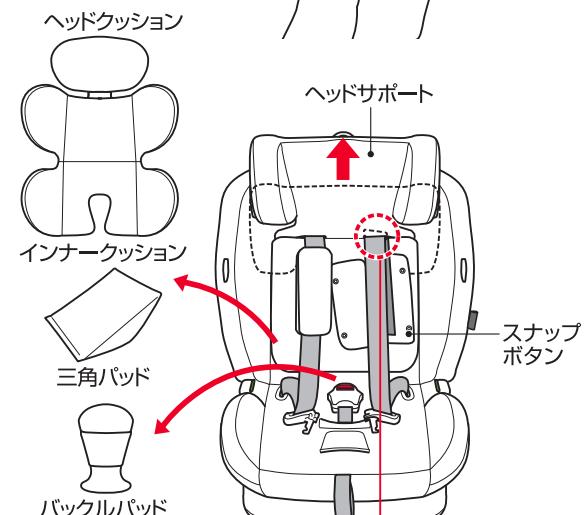
1

肩ベルトを緩め(P16参照)、ヘッドサポートを引き上げます。(P15参照)  
タングをバックルから解除します。



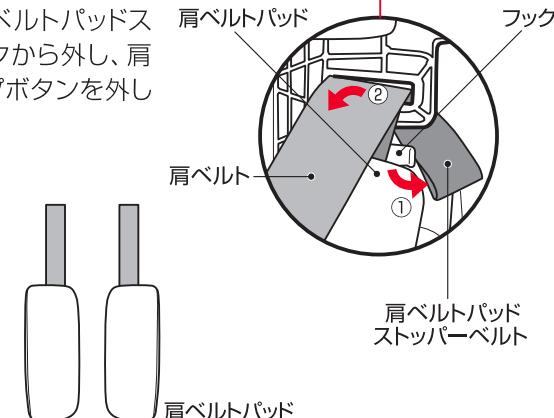
2

ヘッドクッション・インナークッション、三角パッドを取り外します。



3

肩ベルトパッドは、肩ベルトパッドストップペルトをフックから外し、肩ベルトパッドのスナップボタンを外して引き抜きます。

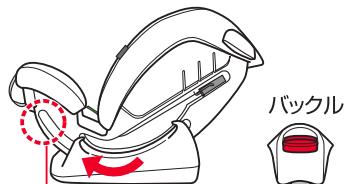


## 前向きとしての使い方②

### お子様を乗せる前に

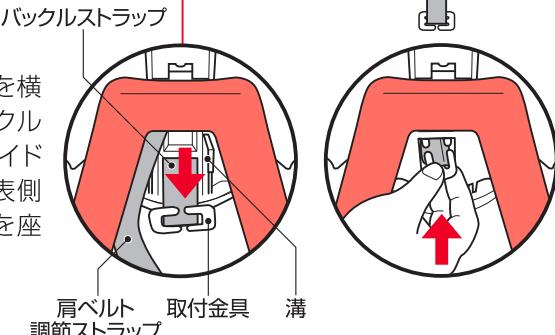
4

リクライニングガイドマークを「R」に合わせます。(P14参照)



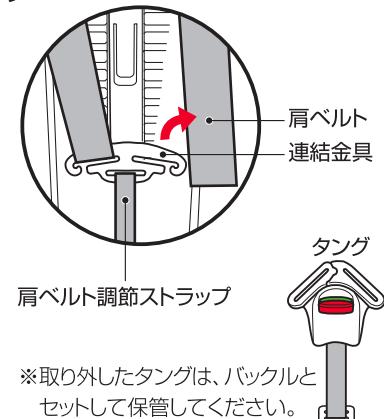
5

肩ベルト調節ストラップを横にずらし、取付金具・バックルストラップを下側にスライドさせて溝から外し、座面表側に押し込んで、バックルを座面から取り外します。



6

背面の連結金具から肩ベルトを取り外し、本体から肩・腰ベルトとタングを取り外します。



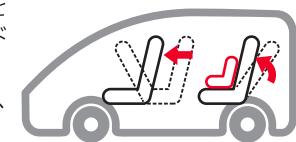
**注意**  
肩ベルト調節ストラップは、肩ベルト調節金具から引き抜かないでください。

## お子様の乗せ方・降ろし方

### お子様の乗せ方

#### ●取り付け作業前にスペースの確保

後部ドアが全開可能で、平坦な場所で取り付けをしてください。前席を前に倒したり、前にスライドさせて作業スペースを確保してください。  
後部座席がリクライニングで倒れている場合は、一番起きた位置にしてください。



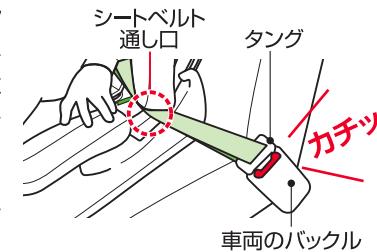
1

お子様を深く座らせ、お子様の頭がヘッドサポートから出ないように、高さを調節します。(P15参照)



2

車両の肩ベルトのねじれがないように、お子様の首に掛からないように注意して通してください。



3

車両の腰ベルトが、お子様の腰骨の低い位置にくるようにして、車両の肩・腰ベルトが左右のシートベルト通し口に確実に掛けり、車両のシートベルトのねじれがないかを確認してからタングを車両のバックルにセットします。

バックルが、「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。



**警告**  
車両のバックルとタングをセットした際、「カチッ」と音がしたことを確認してください。



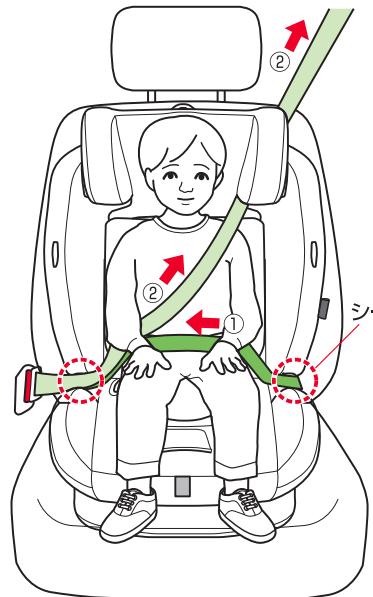
**注意**  
お子様の手や腕を車両のシートベルトで挟まないように、車両のシートベルトの上になるように注意してください。

# お子様の乗せ方・降ろし方

## お子様の乗せ方

4

車両のシートベルトにねじれがないか確認し、車両の腰ベルトを引っ張り(①)、車両の肩ベルトを巻き戻して(②)シートベルトの緩みがないように装着してください。



### セット後の確認

- 車両のシートベルトのタングとバックルが、確実にセットされていること。
- 車両のシートベルトに、ねじれがないこと。
- 車両の肩・腰ベルトが、左右のシートベルト通し口に確実に掛かっていること。
- 本装置を前後に軽く揺すって、ぐらつきがなく安定していること。

### 補足

上記の内容を満たしていない状態で使用しないでください。本装置の機能が十分に発揮せず危険です。  
車両のシートベルトがバックルに届かない場合、車両の背もたれや座席位置を調整して、再度取り付けてください。

## お子様の降ろし方

- 車両のバックルボタンを押してロックを解除し、お子様を降ろしてください。本装置を使用しない場合は、タングをバックルに差し込んで固定してください。

※本装置が移動してケガをするおそれがあります。

# お手入れのしかた

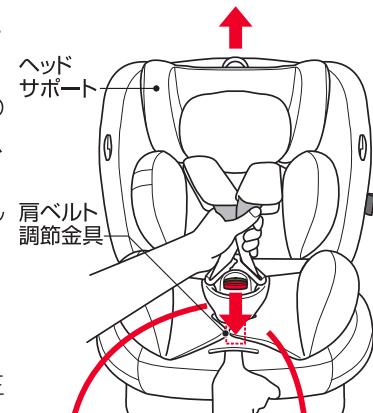
## 取り外し方

- インナーカッショーン・バックルパッドを取り外す

肩ベルト調節金具を押しながら、左右の肩ベルト(肩ベルトパッドの下側)を持ち、手前に引いて肩ベルトを緩めます。

タングをバックルから解除(P13参照)します。

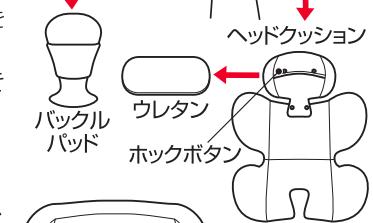
ヘッドサポートを引き上げます。(P15参照)



ヘッドカッショーン・インナーカッショーン、三角パッドを取り外します。

※ヘッドカッショーンの中に入っているウレタンを取り出してください。

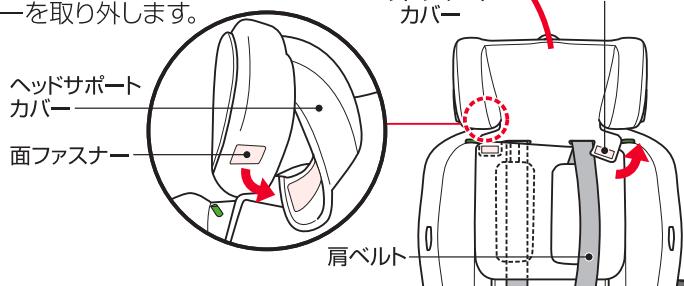
バックルパッドを、バックルから引き抜きます。



- ヘッドサポートカバー・肩ベルトパッドを取り外す

ヘッドサポートカバーの面ファスナーを外して、肩ベルトを引き出します。

ヘッドサポートカバーを手前に外し、下部にある面ファスナーを外して、ヘッドサポートカバーを取り外します。



# お手入れのしかた

## 取り外し方

肩ベルトパッドは、肩ベルトパッドのスナップボタンを外して、肩ベルトパッドストッパーべルトをフックから外して引き抜きます。

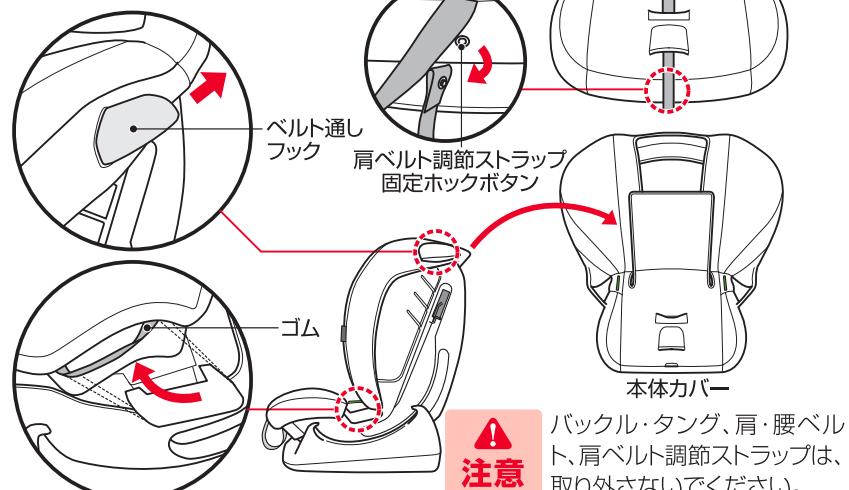
### ●本体力バーを取り外す

背もたれの面ファスナーを外して、肩・腰ベルトを本体力バーの内側にします。

肩ベルト調節ストラップ固定ホックボタンを外して、肩ベルト調節ストラップを本体力バーの内側に通します。

本体力バーを本体下部からめくりあげ、バッклルを本体力バーの内側に引き抜きます。

側面下部に掛けてあるゴムを外し、本体力バーをベルト通しフックから引き抜き、本体力バーを取り外します。



## 取り付け方

### ●本体力バーを取り付ける

肩ベルトを緩め(P16参照)、ヘッドサポートを引き上げます。(P15参照)

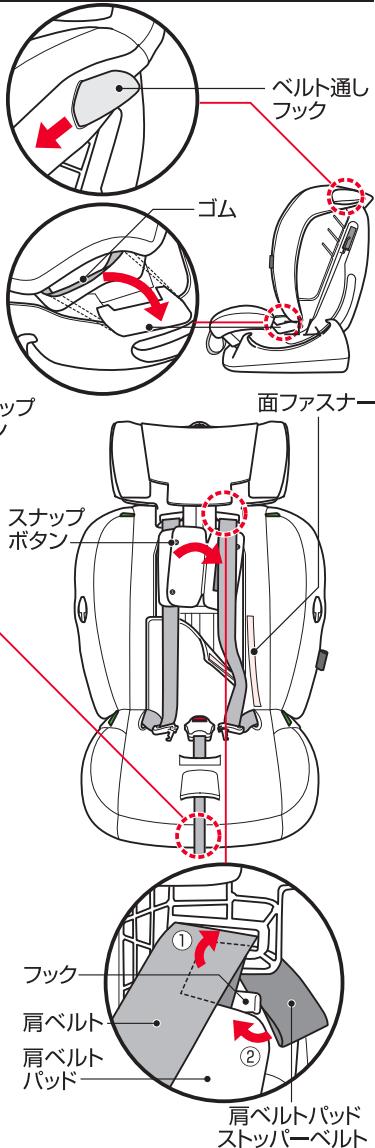
本体力バーをベルト通しフックに通し、本体側面下部にゴムを掛けます。

バッカルと肩ベルト調節ストラップ、肩・腰ベルトを本体力バーの表側に引き出します。

背もたれの面ファスナーを取り付けます。  
肩ベルト調節ストラップを、肩ベルト調節ストラップ固定ホックボタンで固定します。

### ●肩ベルトパッド・ヘッドパッドを取り付ける

肩ベルトパッドは、肩ベルトパッドストッパーべルトを肩ベルト下側から通し、フックに取り付け、肩ベルトパッドのスナップボタンで固定します。

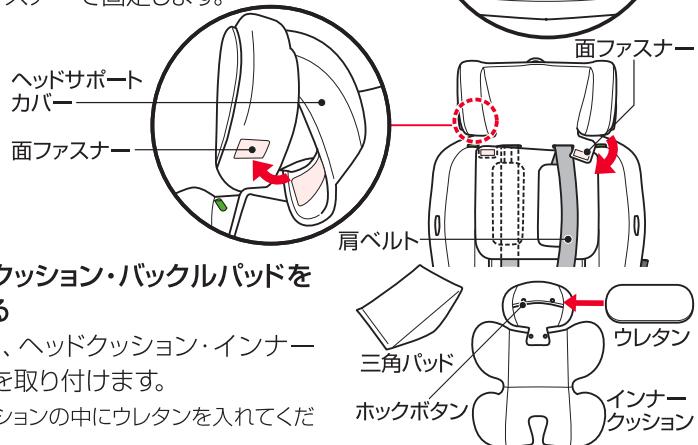


# お手入れのしかた

## 取り付け方

ヘッドサポートカバーの背面部を差し込み、ヘッドサポートカバーを取り付け、下部にある面ファスナーで固定します。

ヘッドサポートカバーの面ファスナーを外し、肩ベルトと肩ベルトパッドを引き出して、面ファスナーで固定します。



### ●インナーカッション・バックルパッドを取り付ける

三角パッド、ヘッドカッション・インナーカッションを取り付けます。

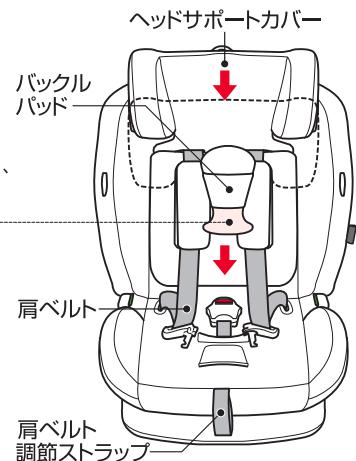
※ヘッドカッションの中にウレタンを入れてください。

バックルパッドを、バックルに取り付けます。

※バックルパッドの下部は、本体力バーの中に押し込んでください。

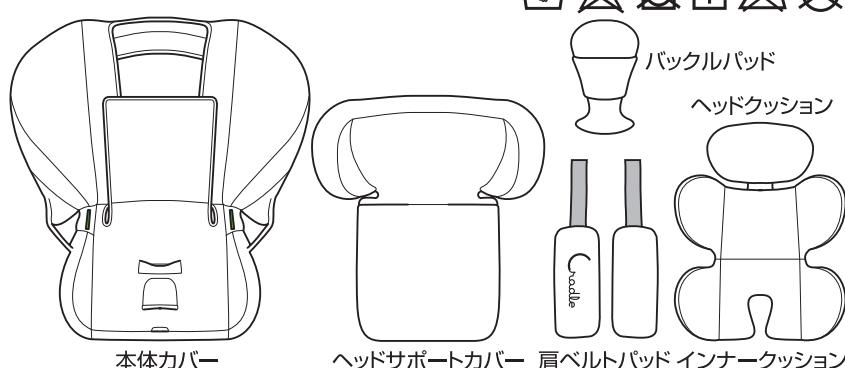
ヘッドサポートを引き下げ(P15参照)、タングをバックルに固定します(P13参照)。

肩ベルト調節ストラップをゆっくり手前に引いて肩ベルトを締めます。



## カバー・パッド・クッション

- 中性洗剤を使い手洗いしてください。
- 洗濯機(手洗いモード)で洗う場合は、必ず洗濯ネットを使用してください。
- しっかり乾くまで使用しないでください。
- 塩素系漂白剤は色落ちしますので、使用しないでください。
- 脱水機・衣類乾燥機、アイロンは使用しないでください。

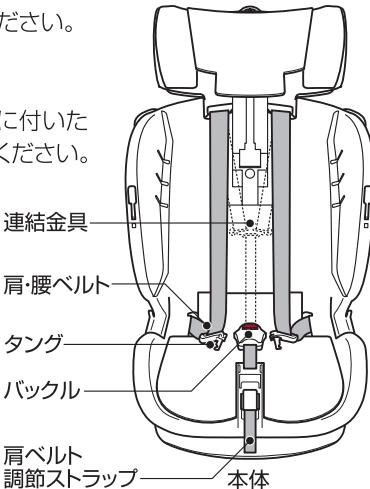


## 本体・ベルト・バックル等

- 乾拭き、またはよく絞った布で水拭きしてください。
- 風通しのよい日陰で干してください。
- しっかり乾くまで使用しないでください。
- 肩ベルトパッドストッパー、バックル・タングに付いた水分や汚れは、しっかり拭き取って乾かしてください。



バックル、タング、肩・腰ベルト、肩ベルト調節ストラップは、本体から取り外さないでください。



# 困ったときは

ご不明な点は、「お客様相談窓口(0120-034-017)」までお問い合わせください。

## チャイルドシートを取り付けたが、安定せずグラグラする。

○座面を前後に軽く揺すり、本装置の座面と車両のシートから3cm以上ズレないかを確認してください。

○車両の座席がリクライニングできる場合は、背もたれを前に起こすことで、しっかり固定できる場合があります。また、座席がスライドできる場合は、前側にスライドさせることで、しっかり固定できる場合があります。

## 肩ベルトが緩まない。締まらない。

○組み立てたときに肩ベルト調節ストラップがねじれているかもしれません。本装置を車両から取り外して、ねじれがないか確認後、再度組み立ててください。

※ねじれがある場合は、ねじれを直してから組み立ててください。

## ヘッドサポートが上がらない。

○肩ベルトを十分緩めてから高さの調節をしてください。

## シートベルトで取り付けたが、緩みやたるみがとれない。

○本装置を車両の背もたれに押しつけて隙間を少なくし、腰ベルト、肩ベルトの順に巻き戻して緩みやたるみを取ってください。

## バックルにタングが入らない。

○バックルにゴミや水分等が入ったために、バックル解除ボタンが機能しない場合があります。ゴミや水分等を取り除いてもバックルにタングが入らない場合は、「お客様相談窓口」までお問い合わせください。

○バックルの差し込み口に潤滑スプレーを吹き付け、バックルにタングを数回抜き差してください。

## 肩ベルトがねじれて、タングが逆向きになった。

○肩ベルトを斜めに折って、折った端の方からタングを通してください。

## 運転席側か助手席側か、どちらに取り付けた方がいいか。

○助手席の後部をお勧めします。信号などの停車時にお子様の様子を確認いただけたり、お子様の乗せ降ろしが歩道側ができるのでより安全です。

## 廃棄したい。

○お住まいの各自治体の規定に従い廃棄してください。

○本装置を落としたり強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても決して使用しないでください。

# 保証規定

- ①本製品の品質保証期間は、お買い上げになった日より1年間です。  
②保証期間内には、パーツの欠品、加工不良などメーカーの責任によるものは無償保証といいます。ですが、お客様の責任によるものは保証いたしかねます。  
③保証期間内でも、次の場合は保証対象外とさせていただきます。
  - ホームおよびプラスチック部品の自然劣化による変色。●ご使用にともなう傷ややけ、変色。
  - 天候変化や、事故などによる故障や損傷。
  - 一般家庭以外で、業務などで使用されて故障した場合。●部品の紛失。
  - 保証書類およびレシート、または販売証明書のご提示がない場合。
  - 間違った使い方や改造、不適切な修理、手入れ不良による故障や損傷。
  - 保証書に記名・お買い上げ日・お客様名・販売店名のご記入がない場合、字句を書き換えられている場合。

④原則として、一度お使いになった製品はお取り替えできません。また、パーツ・品・加工不良のものを除き保証いたしかねます。

⑤製品の故障・損傷が発生する間接的な損害や損害は、保証の対象外となります。

⑥事故や落下等で強い衝撃を受けた製品は、保証の対象外となります。

⑦保証書は日本国内においてのみ有効です。海外からの保証サービスには受付できません。

⑧ご贈答、ご移転で保証書に入してある販売店に保証サービスを依頼できない場合は「お客様相談窓口」にご相談ください。

⑨本保証は保証書記載欄の販売店から、お買い上げ日にご購入されたお客様(贈答品の場合は、保証書記載欄の販売店からお買い上げになられたお客様から贈答された方)にのみ有効です。  
第三者から譲り受けた場合(リサイクルショップやネットワークション等含む)、使用履歴を確認できない場合は、本保証は適用されません。

⑩この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償保証をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の制限を制限するものではありません。この保証期間後ににおいて不明な点がありましたら、「お客様相談窓口」にお問い合わせください。

※製造が終了してから3年経過した製品や、必要部品の在庫がなくなった場合等、すでに修理対応ができない製品につきましては修理をいたしかねることがあります。

※保証期間内であっても、不具合のある箇所によって修理ができない場合があります。

※本保証は事前の通知なく変更される場合があります。

# 保証書

お買い上げ後、お買い上げ日・お客様名・販売店名を直ちにご記入いただき、レシートまたは販売証明書(ご購入年月日・販売店がわかるもの)と一緒に大切に保管してください。

製品名 クレイドル カルーセンターロング	お買い上げ年月日 月 日	故障内容記入欄
保証期間 お買い上げ日より1年間		
お客様 お名前 ご住所	TEL	
販売店 店名 住所	TEL	

- 万が一故障が発生した場合は、この保証書とレシートまたは販売証明書をご提示ください。
- ご提供いただいた個人情報は、保証書に基づくアフターサービスのために使用し、その他の目的に使用することはありません。
- 本書は再発行しませんので、大切に保管してください。
- ※品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合がありますのでご了承ください。